

6次産業化の推進

背景と課題

本県農業を「もうかる産業」、「魅力ある産業」として発展させるため、地域資源を活用した付加価値化が注目されており、農業者の経営の多角化、6次産業化を推進しています。

目的

県産農産物の消費拡大や新たな需要創出を図るため、農業者が取り組む商品開発や販路開拓を支援し、6次化人材を育成します。また、地域課題の解決として未利用資源の用途開発やビジネスモデルの創出を図ります。

活動内容

1. 「六次産業化研究施設」を活用した6次産業化人材の育成



基本の製パン



ジャム加工と瓶詰め



グルテンフリー米粉の活用

2. 県産農産物を原料とした商品開発支援



規格外にんじんアイス



まるごとドライいちご



幼竹の乾たけのこメンマ

3. 地域資源「すだち搾汁残渣」の用途開発研究



すだち果皮等活用研究会
JA・研究機関等関係者で結成



精油抽出実証
スパイシーな香りが魅力的



ペースト化と加工品試作
調味料の商品化可能